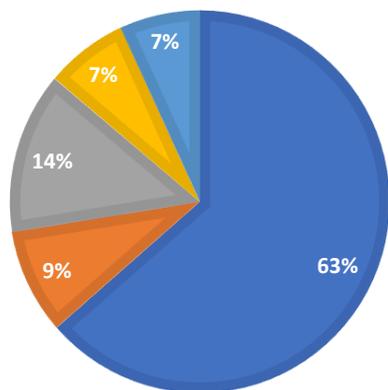


防災に関する市民アンケート

回答数 484人 (全送付数 1000人)

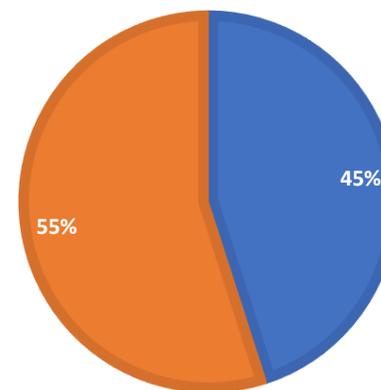
お住いの地域を教えてください

■ 高梁地域 ■ 有漢地域 ■ 成羽地域 ■ 川上地域 ■ 備中地域



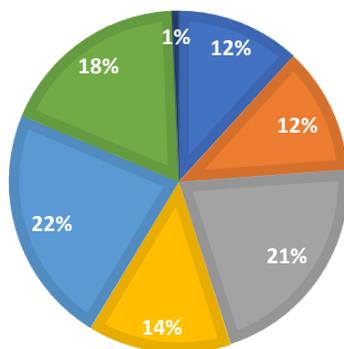
性別を教えてください

■ 男性 ■ 女性



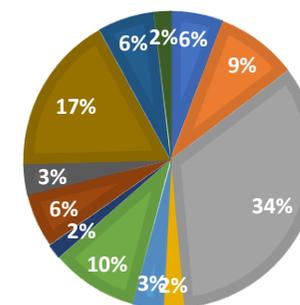
年齢を教えてください

■ 20歳～29歳 ■ 30歳～39歳 ■ 40歳～49歳 ■ 50歳～59歳
■ 60歳～69歳 ■ 70歳～79歳 ■ 80歳以上



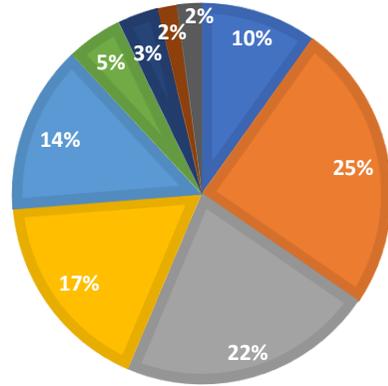
職業を教えてください

■ 農林漁業 ■ 自営業 ■ 会社員 ■ 団体職員
■ 公務員 ■ パートタイマー ■ アルバイト ■ 家事専業
■ 学生 ■ 無職 ■ その他 ■ 未回答



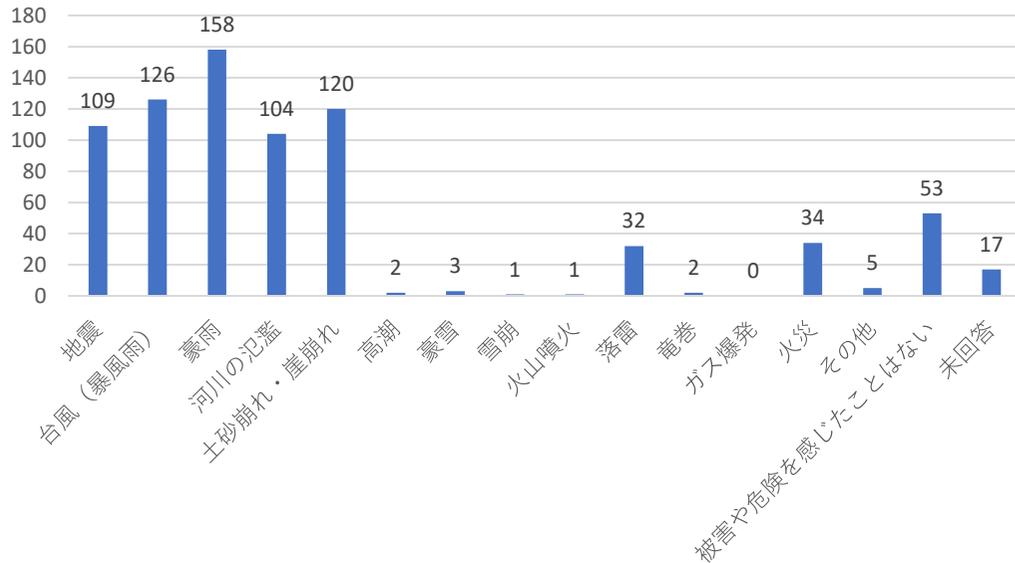
家族構成を教えてください

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人 ■ 6人 ■ 7人 ■ 8人以上 ■ 未回答



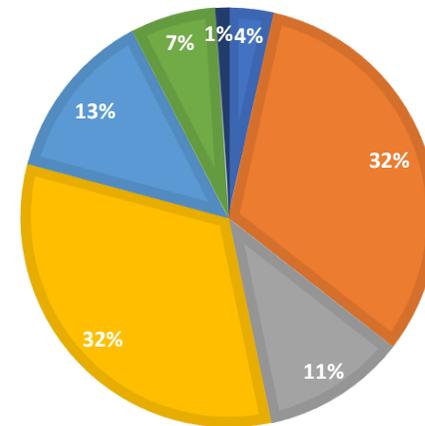
(災害対策に関する意識)

今まで災害によって被害を受けたり、身近に感じたことはありませんか



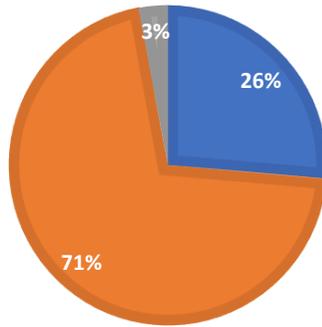
住んでいる地域の災害に対する安全性・危険性

■ 安全 ■ ある程度安全 ■ 安全とも危険ともいえない
 ■ ある程度危険 ■ 危険 ■ わからない
 ■ 未回答

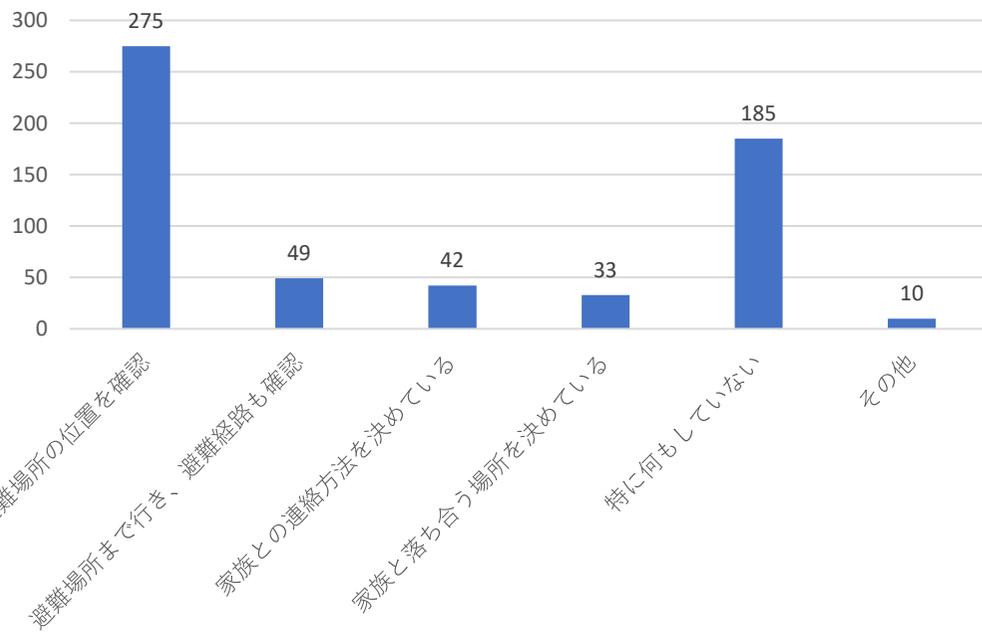


災害が起きた時の安否確認方法について取り決めてありますか

■ はい ■ いいえ ■ 未回答

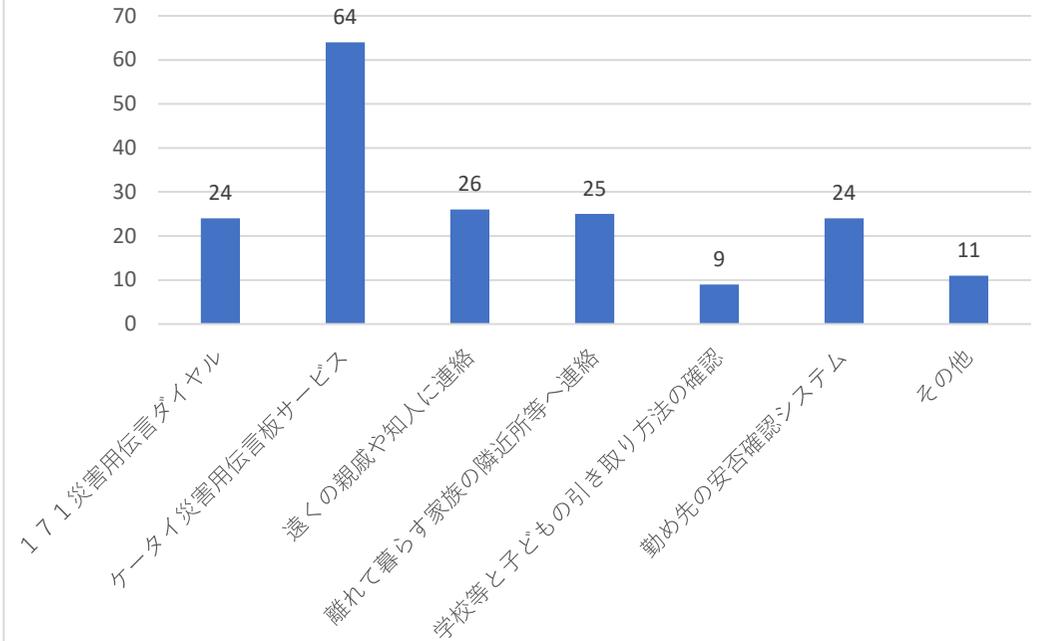


自宅以外の場所への避難の事態に備えての対策



その他：友人との連絡方法、避難する場所を決めている、自宅を考えている、近所の人と連絡を取り合う

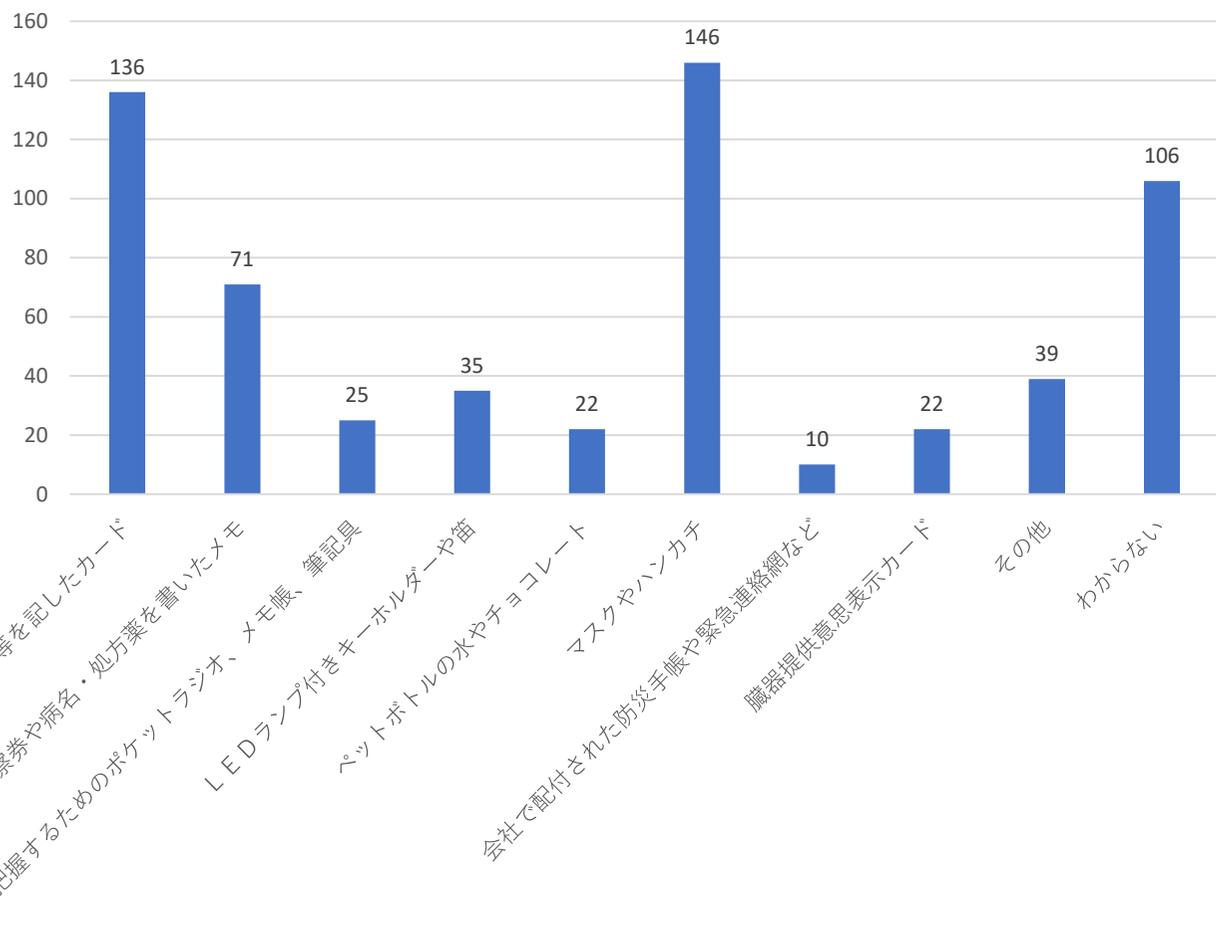
災害が起きた時の安否確認方法



避難場所の位置を確認している方は半数以上いるが、経路まで確認している人は全体の1割

特に何もしていない方が38%

外出中の被災に備えて身につけているもの

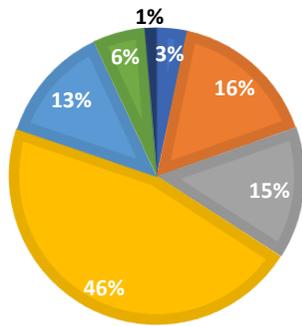


その他：運転免許証、携帯電話、保険証

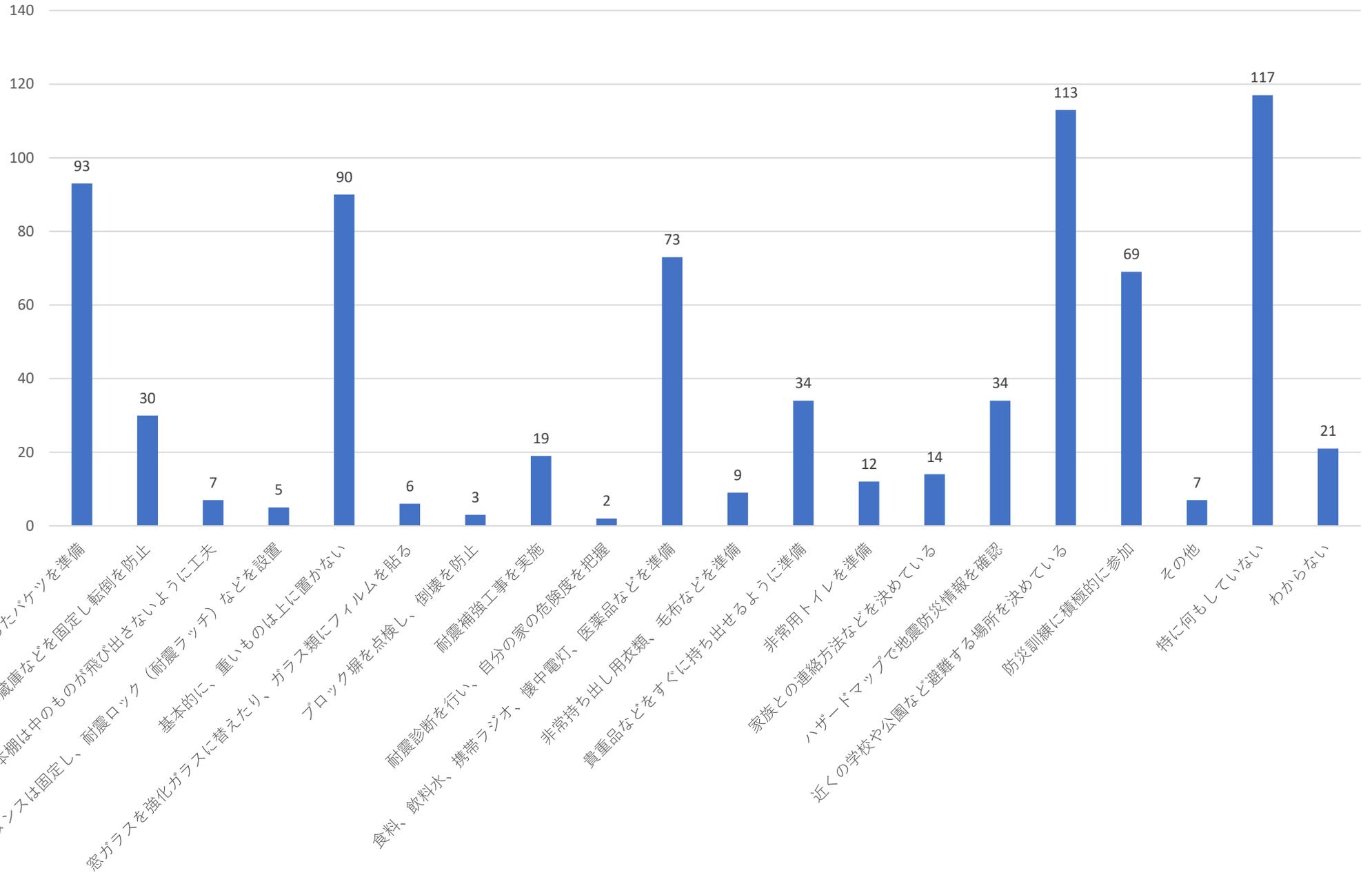
(地震対策に関する意識)

大地震に対して家が大丈夫だと思うか

- 大丈夫
- たぶん大丈夫
- 少し危ない
- 危ない
- どちらともいえない
- わからない
- 未回答



家での大地震に備えての対策

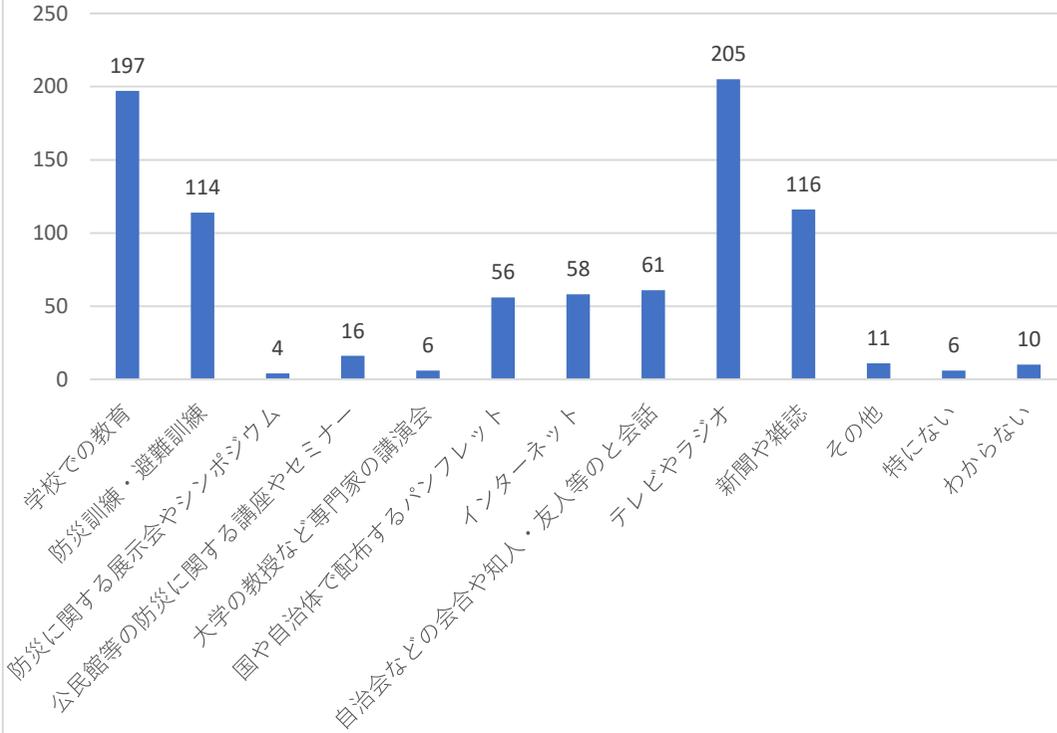


その他：電源が確保できる車両を購入、キャンピングカーを購入

特に何もしていない方が24%

(防災に関する意識)

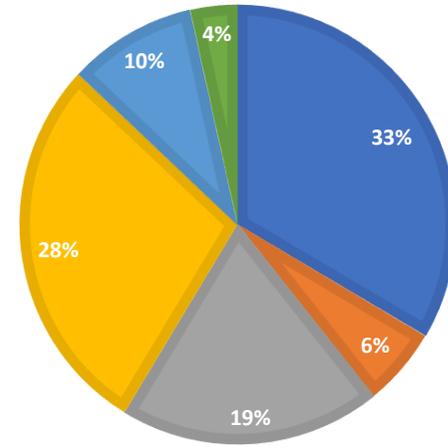
防災に関する知識や情報を何によって提供されたらよいと思うか



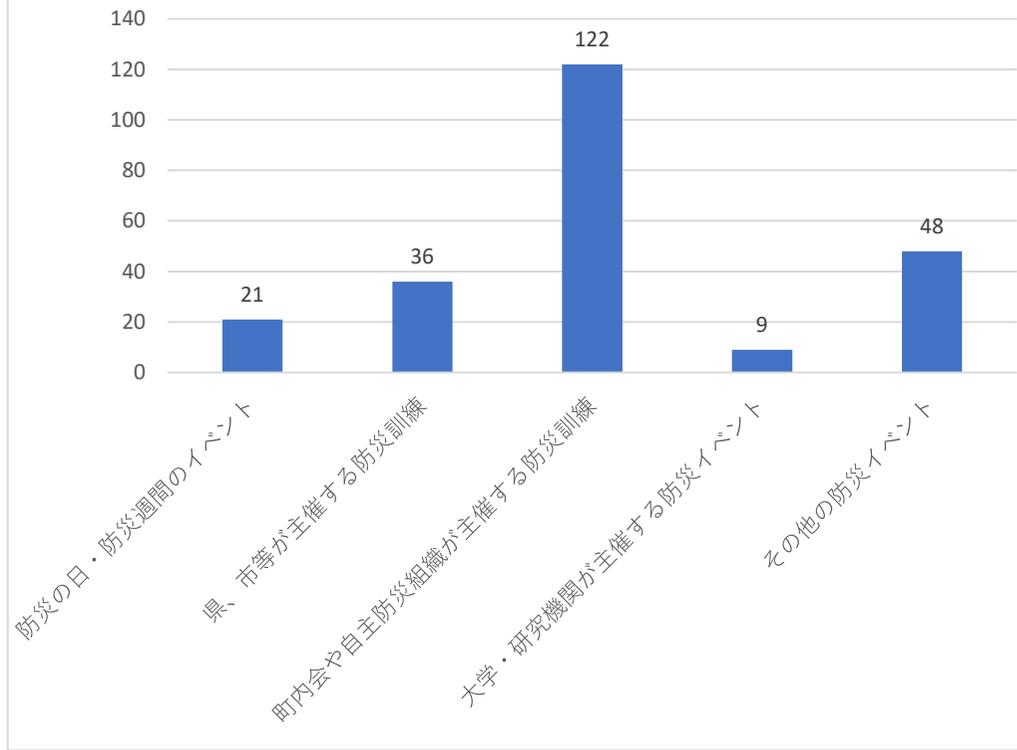
その他：テレビ番組、町内の回覧板、SNS、YouTube、防災ハンドブック

3年間に防災関連のイベント（訓練や催事など）に参加・見学したことがあるか

- 参加したことがある
- 参加したことはないが、見学したことはある
- イベントが行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない
- イベントが行われていることをしらなかった
- わからない
- 未回答

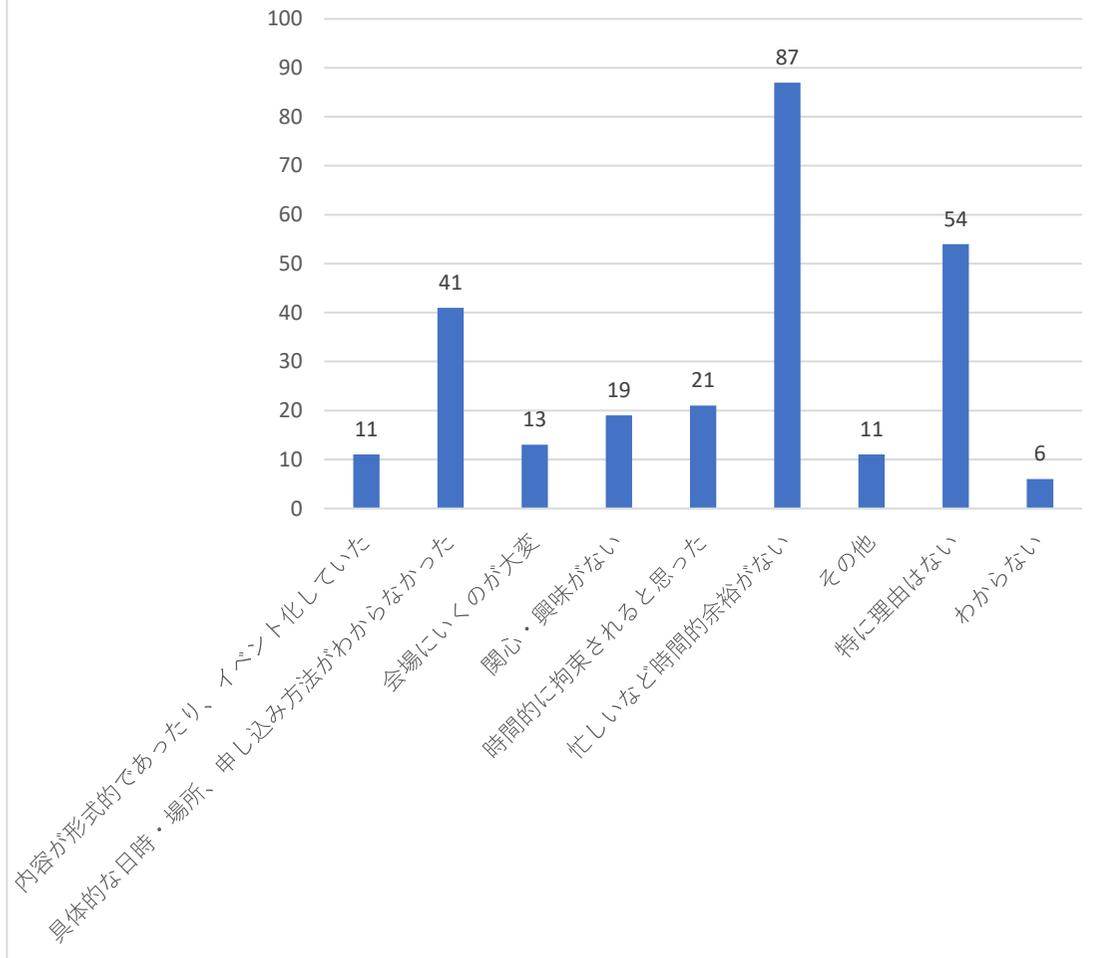


参加した防災関連のイベント



参加したことがある162人のうち122人（74%）が町内会や自主防災組織が主催する防災訓練に参加
 →地域の訓練なら参加しやすい

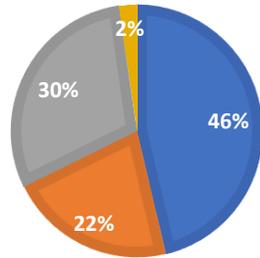
防災関連イベントに参加・見学しない理由



参加・見学したことがない94人のうち87人（93%）が忙しいなど時間的な余裕がない

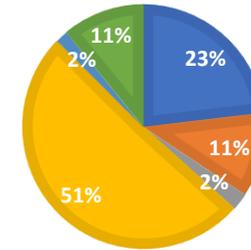
自助、共助、公助という言葉を知っているか

- 聞いたことがあり、言葉の意味も理解している
- 聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない
- 聞いたことがない
- 未回答

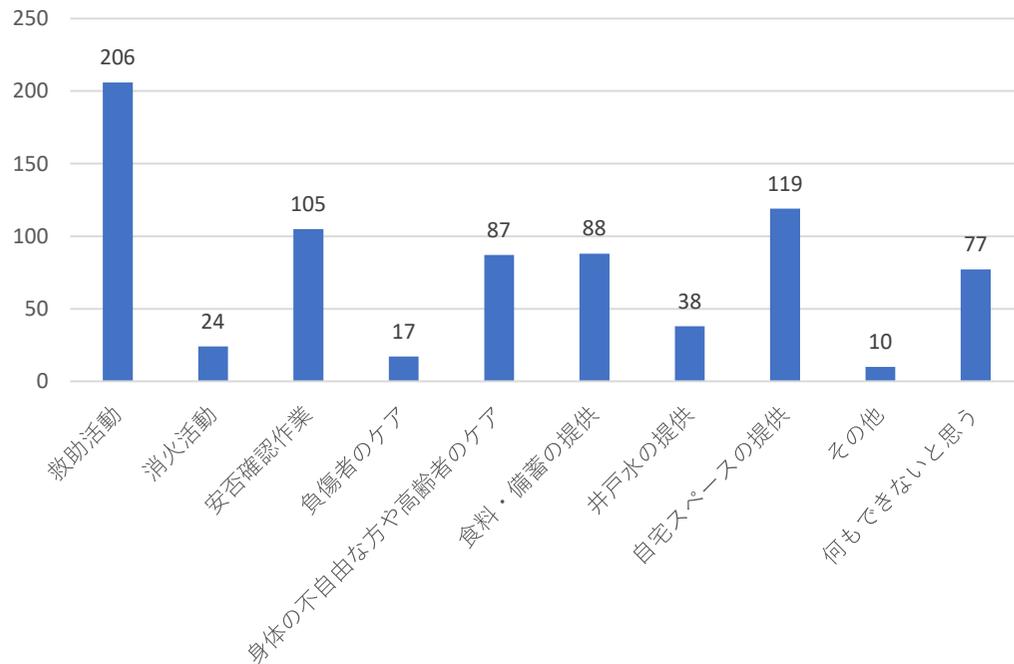


災害発生時に取るべき対応として、自分の気持ちにもっとも近いもの

- 「自助」に重点を置いた対応をすべきである
- 「共助」に重点を置いた対応をすべきである
- 「公助」に重点を置いた対応をすべきである
- 「自助」、「共助」、「公助」のバランスが取れた対応をすべきである
- その他
- わからない

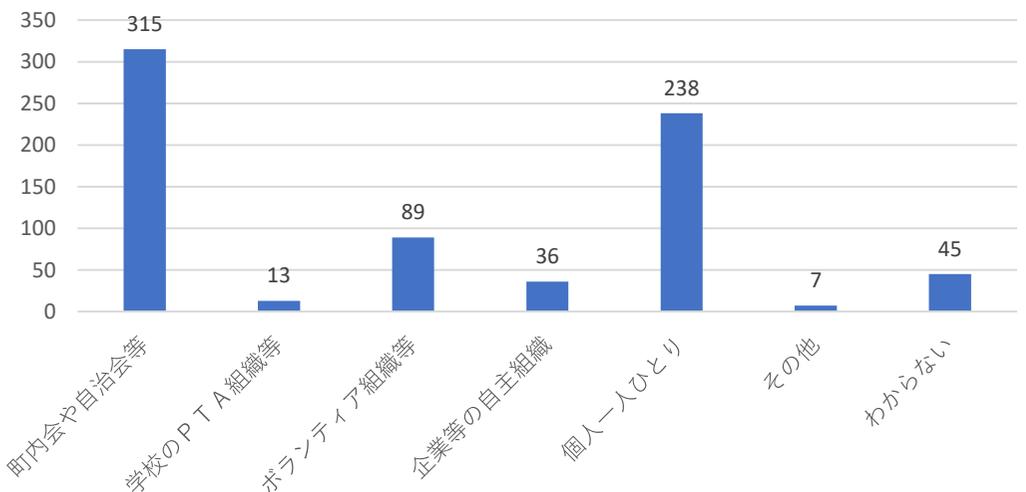


大規模災害発生し、住民同士の助け合いが必要になった場合、自分ができると思うこと



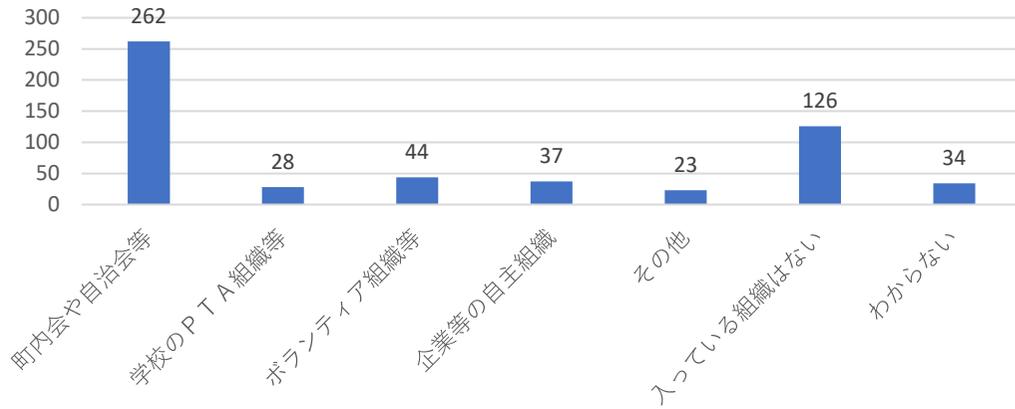
その他：発電機の貸し出し、その時できること、声掛け

災害時の地域の活動において一翼を担うべきもの



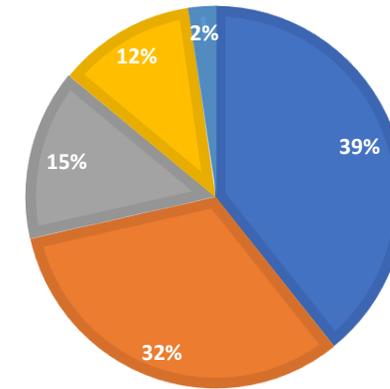
その他：消防団、近所付き合い

一翼を担うと考えられる組織のどれに入っていますか



地域のハザードマップを持っているか

■持っている ■見たことがある ■見たことはないが知っている ■全く知らない ■未回答



今後、防災に関して「自助」、「共助」、「公助」が促進されるために国、県、市に期待することは何ですか。

(啓発)

テレビを使って、防災に関する情報発信を多くしてほしい

テレビやラジオでのCM（繰り返し放送）

ライフラインがなくても生活できるバイブルの作成・配布

ハザードマップの提供

被災経験者、ボランティア経験者等による経験談の講演会開催

防災イベントを町内会等へ積極的に出向いて実施

啓発活動の充実（定期的、継続的）

教育のなかで防災意識を高め、自分の身を自分で守れる力をつけたり、市や町の危険性を理解したりする（親にも）

「自助」、「共助」を広めてほしい

分かりやすい言葉で、親しみやすく

（情報発信）

災害時に各個人が対応できるような教育、情報発信
ツイッター、LINEなどSNSを活用した情報提供
吉備ケーブルテレビを活用し、地域の災害状況を放映してほしい
最新の情報を正確に早く教えてほしい
「知らなかった」とならないように

（地域）

一人暮らしの人に、声掛けをしやすい状況
一人暮らしの家の把握
ボランティア組織との連携強化
他県や組織の連携
消防団員の確保
身近に動ける組織の発足（自主防災組織、OB消防団）
市民センターと地域の密着が必要
移住してこられた方と親睦ができるイベント等が行える環境整備
市に定期的に各地区を見廻り、住民の意見を聞いてほしい
コミュニティの再生が必要

（補助金）

一時避難所として町内の集会所を利用したいが、建物が老朽化しており、整備するための補助金があればと思う
古い家を建て直す補助金がほしい
災害後の復旧への金銭面の補償
なんでもかんでも補助しない

（ダム）

ダム放流時間の調整
早めの放流

（施設整備）

河川、山林、治水等の個人や地域で対応できない問題への対応
安全に車が通ることができる道を確保してほしい
国道寸断の防止、国道のかさ上げを希望
堤防の点検・補強・修繕の実施
川底の石等の除去などによる河川整備
河川内の土砂・竹やぶの撤去

（避難場所）

吉備ケーブルテレビが入っていない
トイレが水洗ではない
エアコンがない

（備蓄品）

食料、飲み物の早い供給
毛布や食料の平等な提供
防災グッズ等の各家への配布
必要な生活用品のリスト化をしてほしい

（行政）

行政の危機管理能力の向上（マニュアル作成、専門職の育成）
何事も迅速な対応をしていただきたい
災害後のケアが必要
国、県、市にあまり頼らないようにする